



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日
東

上場会社名 ハビックス株式会社

上場取引所

コード番号 3895

URL <https://www.havix.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 福村 大介

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役

（氏名） 伊神 清隆

TEL 058-296-3911

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	3,045	—	52	—	40	—	38	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	4.98	—
2025年3月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2025年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期から非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期第1四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	12,613	7,133	56.6
2025年3月期	12,191	7,230	59.3

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 7,133百万円 2025年3月期 7,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2025年3月期配当金の内訳 普通配当16円00銭 上場20周年記念配当2円00銭

2026年3月期（予想）配当金の内訳 普通配当16円00銭

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	13,500	1.4	550	△23.3	550	△32.0	400	△38.7	51.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	8,175,280株	2025年3月期	8,175,280株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	367,896株	2025年3月期	367,896株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	7,807,384株	2025年3月期1Q	7,778,905株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、2026年3月期の業績予想につきましては、現時点において2025年5月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は2024年6月14日付適時開示「連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ」において、当社連結子会社であるHAVIX TRADING(Thailand) Co., Ltd. (以下、「当該連結子会社」) について解散することをお知らせいたしました。現時点において当該連結子会社の清算は終了しておりませんが、既に事業活動は停止しており、当該連結子会社の金額及び質的観点からの重要性は乏しく、また、当社は他に子会社が存在しないことから、2026年3月期の期首より、非連結決算へ移行いたしました。なお、当第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善が見られたものの、米価格に代表される物価上昇による節約志向の高まり、さらには米国や欧州の金融政策の動向、中東情勢の悪化など、依然として先行きが不透明な状況が続いており、景気の下振れが懸念される状況であります。

当社が製品を提供する外食産業市場におきましては、観光振興や訪日外国人の増加によるインバウンド需要が回復する一方で、食材価格の上昇や人手不足による人件費の高騰などの影響により、飲食店事業者の節約志向が高まり、当社製品の拡販や製造コストアップの価格転嫁も厳しい状況となっております。

また、衛生材料市場におきましては、人口構造の変化に伴う大人用紙おむつ市場の拡大に加え、ペットとの共生に対する価値観が浸透しペットシート市場は安定した成長を続けておりますが、一方で、紙おむつ市場においては、製品単価の上昇を抑制するための素材の薄型化、また、出生数の減少によるベビー用紙おむつの需要低迷等が加わり、同市場の成長が停滞する状況が続いております。

このような環境のなか、当社は既存製品の販売拡大、生産効率の一層の改善により収益の確保に努めるとともに、医療・介護向けの衛生用品ブランド「Kireine（キレイネ）」の拡販活動を行ってまいりました。また、ガバナンスの強化による信頼と業務品質の向上、インナーブランディングによる企業理念の浸透活動の推進、社員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる職場環境の整備により、当社の経営基盤を強化してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,045百万円、営業利益は52百万円、経常利益は40百万円、四半期純利益は38百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a. 不織布関連事業

パルプ不織布は、主力製品である業務用クッキングペーパー、ドリップ吸収シート向け製品および医療・介護向けの衛生用品ブランド「Kireine（キレイネ）」の商品を中心に拡販活動を積極的に展開してまいりました。

化繊不織布は、生理用ナプキン向け製品の販売が堅調に推移しました。しかし、両不織布において価格修正による受注の低迷、さらには安価な中国製製品や代替素材へのシフトにより、業績への影響は限定的となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,656百万円、セグメント利益は240百万円となりました。

b. 紙関連事業

衛生用紙は、衛生材料市場における紙おむつ、ペットシート向け製品を中心に拡販活動、とりわけ、紙おむつ向け製品においては製品単価の上昇抑制を目的とした薄型化に合わせた製品提案を積極的に展開するほか、事業の収益性向上を目的とした品種構成等の見直しを進めておりますが、業績への影響は限定的となりました。

また、2025年6月末にて、老朽化が著しく生産性が低下しておりました穂積工場の生産を停止し、海津工場への生産移管を実施したため、移管のためのコストが発生するほか、一時的に生産・販売が減少する結果となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,388百万円、セグメント利益は112百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

a. 資産

総資産は、前事業年度末と比べ422百万円増加して12,613百万円となりました。これは主に、現金及び預金が661百万円、原材料及び貯蔵品が390百万円、商品及び製品が111百万円増加したこと、電子記録債権が554百万円、受取手形及び売掛金が162百万円減少したことによるものであります。

b. 負債

負債は、前事業年度末と比べ519百万円増加して5,480百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が293百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が162百万円、電子記録債務が160百万円増加したこと、賞与引当金が78百万円減少したことによるものであります。

c. 純資産

純資産は、前事業年度末と比べ96百万円減少して7,133百万円となりました。これは主に、利益剰余金が101百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は56.6%となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,168,212	2,829,976
受取手形及び売掛金	2,181,159	2,018,191
電子記録債権	2,029,034	1,474,100
有価証券	9,995	-
商品及び製品	591,005	702,029
仕掛品	10,907	17,758
原材料及び貯蔵品	1,053,783	1,443,892
その他	186,746	133,287
流動資産合計	8,230,845	8,619,237
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,174,850	1,202,902
構築物	25,799	24,150
機械及び装置	410,885	425,555
土地	1,222,690	1,222,690
建設仮勘定	138,424	138,897
その他	108,351	107,992
有形固定資産合計	3,081,000	3,122,188
無形固定資産	236,090	225,036
投資その他の資産		
投資有価証券	149,601	151,639
繰延税金資産	470,351	471,965
その他	57,347	57,486
貸倒引当金	△33,735	△33,735
投資その他の資産合計	643,565	647,356
固定資産合計	3,960,656	3,994,580
資産合計	12,191,501	12,613,818

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,499,631	1,793,402
電子記録債務	1,266,386	1,426,626
1年内返済予定の長期借入金	396,684	396,684
未払金	341,788	347,122
未払法人税等	11,818	5,175
賞与引当金	156,346	77,366
役員賞与引当金	38,000	6,900
その他	118,951	352,595
流動負債合計	3,829,607	4,405,872
固定負債		
長期借入金	904,522	834,591
退職給付引当金	199,452	206,423
その他	27,444	33,219
固定負債合計	1,131,419	1,074,234
負債合計	4,961,026	5,480,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金		
資本準備金	603,260	603,260
その他資本剰余金	47,154	50,278
資本剰余金合計	650,414	653,538
利益剰余金		
利益準備金	125,415	125,415
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	51,977	51,548
別途積立金	4,350,000	4,650,000
繰越利益剰余金	1,500,439	1,099,220
利益剰余金合計	6,027,832	5,926,184
自己株式	△103,161	△103,161
株主資本合計	7,168,745	7,070,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,880	63,489
繰延ヘッジ損益	△150	-
評価・換算差額等合計	61,730	63,489
純資産合計	7,230,475	7,133,711
負債純資産合計	12,191,501	12,613,818

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,045,456
売上原価	2,503,386
売上総利益	542,070
販売費及び一般管理費	489,121
営業利益	52,948
営業外収益	
受取利息及び配当金	3,400
為替差益	9,819
補助金収入	1,392
その他	4,599
営業外収益合計	19,211
営業外費用	
支払利息	2,518
デリバティブ評価損	23,538
リース解約損	3,514
その他	1,812
営業外費用合計	31,383
経常利益	40,777
税引前四半期純利益	40,777
法人税、住民税及び事業税	4,004
法人税等調整額	△2,112
法人税等合計	1,892
四半期純利益	38,884

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	不織布関連事業	紙関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,656,535	1,388,921	3,045,456	—	3,045,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,656,535	1,388,921	3,045,456	—	3,045,456
セグメント利益	240,678	112,613	353,292	△300,343	52,948

(注) 1. セグメント利益の調整額△300,343千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	59,347千円